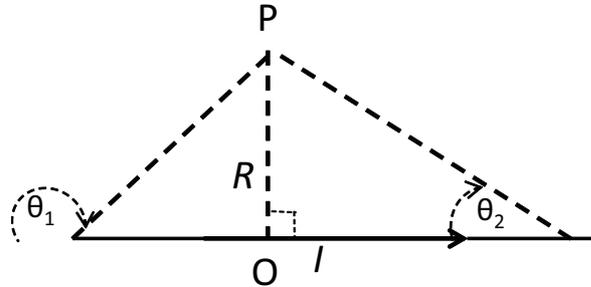


(ビオ・サバールの法則の適用:有限の直線電流のつくる磁場)

filename=biotsavart-direct-finite-current-qa140707B.tex

図のように、有限の長さの直線状の導線に強さ  $I$  の電流が流れている。電流  $I$  の



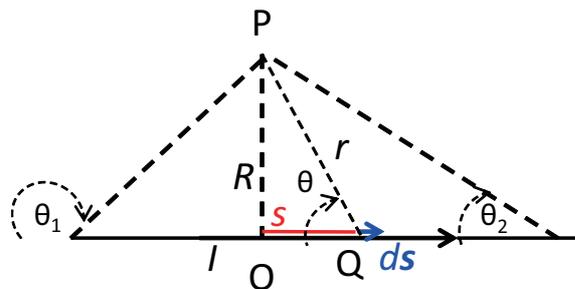
向きから角度  $\theta_1, \theta_2$  で眺めるような2点をそれぞれ始点と終点とする直線状の電流から距離  $R$  の点  $P$  における磁場  $\mathbf{B}$  を求めよ。ただし、ビオ・サバールの法則より、原点  $O$  から座標  $s$  だけ離れた線要素ベクトル  $d\mathbf{s}$  が点  $P$  に作る微小磁場  $d\mathbf{B}$  は

$$d\mathbf{B} = \left( \frac{\mu_0 I}{4\pi} \right) \frac{d\mathbf{s} \times \mathbf{r}}{r^3} \quad (1)$$

である。この微小磁場  $d\mathbf{B}$  の向きは  $d\mathbf{s}$  から位置ベクトル  $\mathbf{r}$  の向きに右ねじを回したときに右ねじの進む向きである。ここで、真空の透磁率を  $\mu_0$  とする。

(解答例)

図のように、導線から距離  $R$  の点  $P$  から電流に垂線を下ろした交点を(積分の)原点  $O$  とする。まず、原点  $O$  から座標  $s$  だけ離れた線要素ベクトル  $d\mathbf{s}$  が点  $P$  に作



る微小磁場  $d\mathbf{B}$  はの大きさ  $dB$  は

$$dB = \left( \frac{\mu_0 I}{4\pi} \right) \frac{ds \sin(\pi - \theta)}{r^2} = \left( \frac{\mu_0 I}{4\pi} \right) \frac{\sin \theta}{r^2} ds \quad (2)$$

と書ける。図より

$$\begin{aligned} \frac{R}{r} &= \cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \sin \theta \\ \rightarrow \frac{\sin \theta}{r^2} ds &= \frac{\sin^3 \theta}{R^2} ds. \end{aligned} \quad (3)$$

さらに、 $R = s \tan \theta$ ,  $s = R \cos \theta / \sin \theta$  であることを用いて、積分変数を  $s$  から  $\theta$  へ変換する.

$$\begin{aligned} ds &\equiv \left( \frac{ds}{d\theta} \right) d\theta = R \frac{d}{d\theta} \left( \frac{\cos \theta}{\sin \theta} \right) d\theta = R \frac{-\sin \theta \sin \theta - \cos \theta \cos \theta}{\sin^2 \theta} d\theta \\ &= -\frac{R}{\sin^2 \theta} d\theta \end{aligned} \quad (4)$$

$$\rightarrow \frac{\sin \theta}{r^2} ds = -\frac{\sin \theta}{R} d\theta, \quad (5)$$

$$\theta_1 \leq \theta \leq \theta_2. \quad (6)$$

よって、以上の結果を用いて積分を実行すると

$$\begin{aligned} B(R) &= \int dB \\ &= \left( \frac{\mu_0 I}{4\pi R} \right) \int_{\theta_1}^{\theta_2} (-1) \sin \theta d\theta = \left( \frac{\mu_0 I}{4\pi R} \right) [\cos \theta]_{\theta_1}^{\theta_2} \\ \rightarrow B(R) &= \left( \frac{\mu_0}{4\pi} \right) \frac{I}{R} (\cos \theta_2 - \cos \theta_1) \end{aligned} \quad (7)$$

となる。磁場  $\mathbf{B}$  の向きは、今の図の場合、紙面の裏から表の向きである。

備考： $\theta_1 = \pi$ ,  $\theta_2 = 0$  の場合、無限に長い直線状の電流に相当し、その結果は  $B(r) = (\mu_0 I / 2\pi R)$  となり、最初から無限に長いとして計算した結果に一致する。